



東京学芸大学 50001400 現代社会と日本語

2021/1/21 南浦涼介

現代社会と日本語

第14回

全体総括 現代社会と日本語で学んだことを可視化し，考える

本日は，かなり序盤からブレイクアウトルームをしますので

Teamsはアプリから入るようにしてください

Teamsにも書いていますが，今日は授業内容上，

やりとりがスムーズに行くことがとても重要です。

なので，ブレイクアウトルームに入ったら

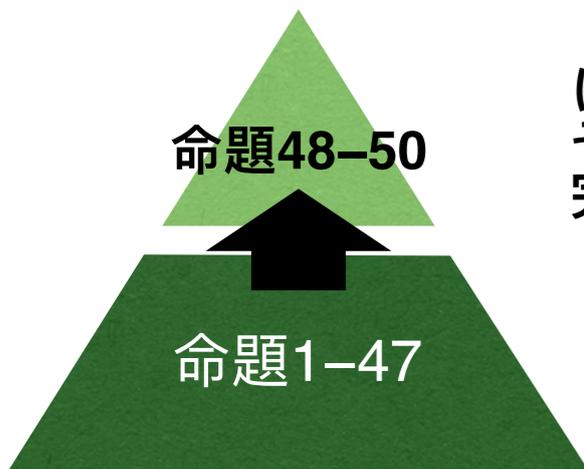
最初は「画面オン」を基本ということで，おねがいします_o_

総合考察手順

これまでの学習を可視化し、共有財産化し、意味づける

1月28日（木）

これまでの全命題47個の最後に、3つ、自分たちで命題48, 49, 50をつくり、「〈現代社会と日本語〉をわかる50の命題」を完成させる



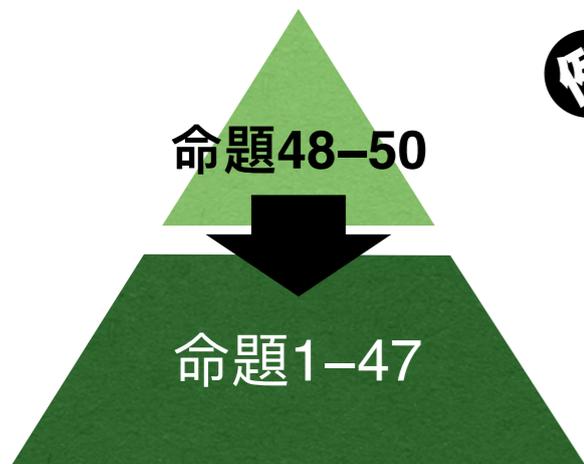
「『〈現代社会と日本語〉学』とは、つまりどのような学問だといえるか？」に対する命題を自分たちで3つつくる。それぞれ共同で140字以内で作成し、「〈現代社会と日本語〉をわかる50の命題」を完成させる。

例 「現代社会と日本語」は、……………という学問である。（内容総括系）
「現代社会と日本語」は、……………のために存在している。（意義系）
「現代社会と日本語」は、……………という方向で考え続ける必要がある。（方向示唆系）

これまでの命題の中にある共通性を見いだしながら、帰納的（ボトムアップ的）に冠としての総括的命題を構築し、自分の学習の俯瞰的視点を持つことで学習を意味づける。

2月4日（木）

自分たちでつくった3つの命題を解説するレポートを作成する。
なお、解説にあたってはこれまでの命題1-47のうち、5つ程度を解説の中に入れこんで作成する。（各命題につき300字～500字）



例 「現代社会と日本語」は、……………という学問である。（内容総括系）

↓ 冠にかぶせた自分たちの総括的命題から、演繹的（トップダウン的）にこれまでの命題を利用しながら、命題の意味を説明し、学習を意味づける。

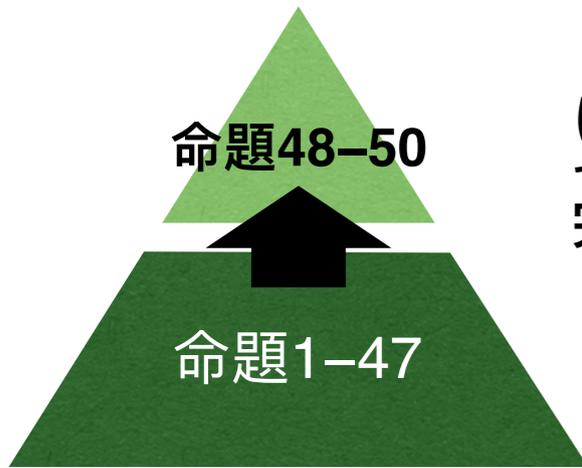
この意味は、例えば命題・「……………」や命題「……………」などによく表れているように、……………ということの重要性を指している。具体的な典型例として……………のようなエピソードは、このことをよく示しているように思う。……………

今日の手順

これまでの学習を可視化し、共有財産化し、意味づける

1月28日（木）

これまでの全命題47個の最後に、3つ、自分たちで命題48, 49, 50をつくり、「〈現代社会と日本語〉をわかる50の命題」を完成させる



「『〈現代社会と日本語〉学』とは、つまりどのような学問だといえるか？」に対する命題を自分たちで3つつくる。それぞれ共同で140字以内で作成し、「〈現代社会と日本語〉をわかる50の命題」を完成させる。

例 「現代社会と日本語」は、……………という学問である。（内容総括系）
「現代社会と日本語」は、……………のために存在している。（意義系）
「現代社会と日本語」は、……………という方向で考え続ける必要がある。（方向示唆系）

これまでの命題の中にある共通性を見いだしながら、帰納的（ボトムアップ的）に冠としての総括的命題を構築し、自分の学習の俯瞰的視点を持つことで学習を意味づける。

- 手順① teamsの投稿欄「〈現代社会と日本語〉で私たちが得た命題集」から5つ程度、「自分のお気に入り命題」を選ぶ。（概念的なものと、具体的なものを混ぜることもアリです）
- 手順② ブレイクアウトルームに4人前後で入ります。（部屋番号を確認）
基本は画面オン！（できればすぐ画面をつける）にして、やりとりをスムーズにできるようにそれぞれが協力すること。
調子が悪い場合などはオフにしてもいいが、その際は必ず声を交わし、その旨を伝える。
- 手順③ 部屋番号と一致するpadletをteamsの投稿欄にある「グループ〇」の番号で選び、開く
- 手順④ padletに、手順①で選んだ命題を投稿する。（名前を上段、命題を下段（番号も付ける））
- 手順⑤ それぞれの提示した命題を整理する（移動・結合・グループピング・命名など）

南浦涼介

ほにやら系命題群

南浦涼介

命題1 ほにやら

南浦涼介

命題3 ぴえんぬ

南浦涼介

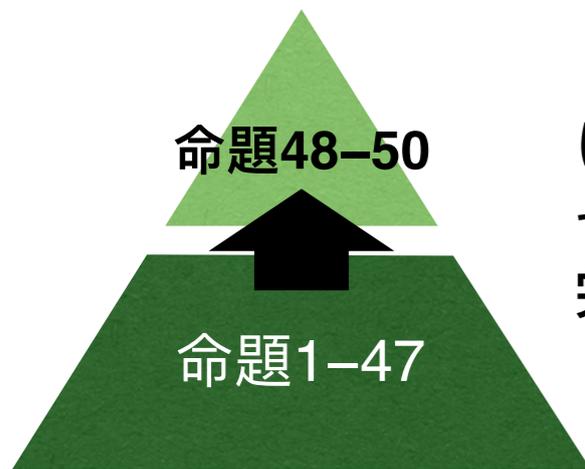
命題2 はにやら

今日の手順

これまでの学習を可視化し、共有財産化し、意味づける

1月28日（木）

これまでの全命題47個の最後に、3つ、自分たちで命題48, 49, 50をつくり、「〈現代社会と日本語〉をわかる50の命題」を完成させる



「『〈現代社会と日本語〉学』とは、つまりどのような学問だといえるか？」に対する命題を自分たちで3つつくる。それぞれ共同で140字以内で作成し、「〈現代社会と日本語〉をわかる50の命題」を完成させる。

例 「現代社会と日本語」は、……………という学問である。（内容総括系）
「現代社会と日本語」は、……………のために存在している。（意義系）
「現代社会と日本語」は、……………という方向で考え続ける必要がある。（方向示唆系）

これまでの命題の中にある共通性を見いだしながら、帰納的（ボトムアップ的）に冠としての総括的命題を構築し、自分の学習の俯瞰的視点を持つことで学習を意味づける。

手順⑥ ある程度整理ができれば、命題を3つつくる

方法のアイデア

- Padletを利用して、文章を各自作成（2つずつくらい）し、合体させたり選んだりする
- 上にあるように「内容総括系・意義系」「言語の中の社会・社会の中の言語・言語と社会の関係」のような形で命題のタイプを分ける

手順⑦ 完成・時間が来たら、teamsの投稿欄「命題集」の返信欄にグループのものとして、投稿する

手順⑧ 他のグループのものも、来週は「いいな」と思ったら利用しても可

なお、padletは他のグループのものもリンクボタンをおしたら見られます。たくさん他の班のものも開いておいて、インターネットのブラウザの画面をタブで他のも見られるようにしておくと、参考になるかもしれません

	<p>観点① 総括的命題が妥当に全体を包括できているか？</p>	<p>観点② 総括的命題の解説として，命題 1 -47 の選択が妥当につながっているか？</p>
<p>ポイント</p>	<p>チェックポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 「抽象化しすぎてオールマイティ感あふれる命題」になっていないか？ 「人は素晴らしい」「ことばは重要」のような全能的なまとめになると逆に「あたりまえ」すぎて命題にならない！ 役割分担しすぎて，3つの命題が「ほぼ同じ」になっていないか？ もちろん類似性はでるけれど，「1人1つつくろうぜ」になりすぎると，結果的に同じ話になりがちです。 	<p>チェックポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 命題1-47を単に文章の中で並列的に並べて示すだけだともったいない。 できれば，そこから自分のことばで新たな意義づけ（妥当な）などができればベストです。 命題の中の抽象度をみぬき，文章を構造化できるとベスト 実は命題1-47の中にも，抽象性の高いものとそうでないものが混ざっています。そうしたことに気づけると，単に並列的に示すのではなく，解説文の中で，「概念的に示す命題」「エピソードとして具体例として示す命題」という形で文章を構造化していくことも可能です。